

# 読者の皆様へ

秋山智英

近年、熱帯林問題が世の関心を集めている中で、今春、林野庁のご指導もうけ関係有志相集い、財団法人国際緑化推進センターを設立致しました。

熱帯林問題が深刻化するにつれ、関係国からの我が国に対する要請も増大かつ多様化しており、今後、我が国としては、これまでの政府間ベースの協力や民間協力活動の一層の拡充はもとより、NGO等の活動も含めた幅広い協力活動の展開が求められております。

そして、今後このような状況に対処して参るには、協力活動に携わる人材の養成確保、海外林業に関する技術・情報の収集、提供、民間協力活動の促進、国際緑化の普及啓発などの活動を担う国内機関の設置が必要とされているところであり、今般、その一翼を担うものとして当センターが設立されたところであります。

センターでは情報活動の一環として、海外林業に関する技術情報誌の発行を予定しておりましたが、既に“熱帯林業”と云う伝統ある本誌があることから、関係者で協議検討を進めましたところ、センターで本誌を刊行することで話がまとまり、これまでの海外林業コンサルタンツ協会よりその刊行をセンターが引き継ぐこととなりました。

よって、本号からその発行者は(財)国際緑化推進センターに変わりますことを読者の皆様にお知らせいたす次第であります。

省みますと、本誌は1966年9月、熱帯林業協会の機関誌として創刊され、その後1984年にその発行者が海外林業コンサルタンツ協会に変わりながらも、本日まで通算94号、丁度25年の歴史を記して参りました。その間、刊行に携わった多くの関係者の努力と熱心な読者の支えによって、我が国唯一の海外林業に関する技術情報誌として高い評価と名声を得て参ったのであります。

センターといたしましては、今般、伝統ある本誌を発行いたすことができ、真に名誉に感じるとともに、今後は更にその充実にも努め、多くの読者に愛され、今後の我が国海外林業協力の推進に資する技術誌となることを目指して頑張っ  
てまいりたいと考えております。

最後に、読者の皆様には今後とも変らぬご愛読をお願い申し上げるとともに、今回の移行にあたり、快よくご協力下さった海外林業コンサルタンツ協会、編集委員を始めとする関係者の方々、並びにご指導頂きました林野庁関係者の皆様に厚くお礼申し上げます、ご挨拶といたします。

---

AKIYAMA, Tomohide : New Step for Tropical Forestry  
(財)国際緑化推進センター理事長